

補足 実施計画への意見と対応

- 補足 1 実施計画 (Ver 1) への意見と対応
- 補足 2 実施計画 (Ver 2) への意見と対応

補足 1 実施計画（Ver 1）への意見と対応

- **公表時期：** 令和3年10月15日～11月15日（1カ月）
- **公表方法：** 都・都市整備局（協議会）ホームページに掲載 ※都プレス発表・都Twitter、市広報誌で案内
- **意見人数：** 30人

<実施計画（Ver 1）への主な意見①>

	実施計画（Ver 1）への主な意見	実施計画（Ver 2）への反映
(1)計画全般	<ul style="list-style-type: none"> ○2050年カーボンニュートラルの具体的施策、超高齢者社会の具体的ソリューションを実証が必要 ○目指すべき将来像が不明確 ○リニア開通の橋本駅と南大沢の差別化の検討が必要 ○コロナ禍を経たpost-new normalの視点を必要 ○若い世代が住みたいと思う支援策（子育て環境、職住近接、女性の就労機会拡大）を計画に組み込むことを希望 	<ul style="list-style-type: none"> ●カーボンニュートラルの具体施策（再生可能エネルギー・地域エネルギーマネジメント等）の検討、高齢者社会の具体施策（自動運転車いす・サービス付帯タクシー等）の実証を実施、今後も引き続き、具体的な検討・多様な実証 ●リニア開通等の周辺地区の将来動向を把握、南大沢の独自性を考慮した将来像として、ビジョンとコンセプトを検討、計画に位置付け、今後、効果的な具体施策を検討 ●コロナ禍における新たな施策（混雑情報サービス、サテライトオフィス等）も検討・計画に位置付け ●若い世代に対する施策（買物案内サービス・運搬ロボット、電動キックボード、地域SNS等）を検討・計画に位置付け
(2)モビリティ	<ul style="list-style-type: none"> ○駅と公園を密につなぐ施策（循環バス、ドローン活用等）の実施を希望 ○シェアサイクル・電動車いすを活用しやすい環境整備・機会提供が必要 ○ZEV・燃料電池車の普及に向けて、現状では地区内にEV充電設備や水素供給設備が殆どない駅前商業施設周辺等への早急な整備が必要 	<ul style="list-style-type: none"> ●駅と公園をつなぐ施策として、今年度、電動シェアサイクル等の実証を実施。今後、新たなモビリティも含む最適な移動サービス等を検討・実施 ●これまで、電動シェアサイクルや自動運転車いすの実証を実施。今後の評価・検証を踏まえ、活用しやすい機会提供や環境設備について検討 ●ZEV等の導入は実施施策に位置付け。今後、関係者と連携により、具体的な検討・整備を推進

＜実施計画（Ver1）への主な意見②＞

	実施計画（Ver1）への主な意見	実施計画（Ver2）への反映
(3)地域コミュニティ	<ul style="list-style-type: none"> ○地域コミュニティを意識した計画への要望 ○小規模店舗の巻き込みが必要 	<ul style="list-style-type: none"> ●今年度、地域コミュニティの形成や活性化に関する具体施策を検討・企画し、計画に反映 ●まちの賑わいに関する実験を地元店舗等と協力して実施、今後も小規模店舗等とも協力した取組を検討
(4)まちづくりへの参画	<ul style="list-style-type: none"> ○スマートシティのまちづくりへの参画機会を希望 ○障害者等のまちづくりへの参画機会の希望 	<ul style="list-style-type: none"> ●これまで、住民等へのアンケート調査やワークショップ、先端技術の実証・体験、オンラインイベント、パブリックコメント等を実施し、本取組への参画機会を創出。今後も障害者等を含む、多様な方が参加できる機会を検討・実施
(5)先端技術	<ul style="list-style-type: none"> ○都市OS等のデジタルインフラ整備方策について、計画の中で具体化が必要 	<ul style="list-style-type: none"> ●社会実装が可能な施策を中心に、必要なICTインフラの方向性について検討し、計画に反映。今後も具体的な検討や関係者との調整を継続して実施


補足2 実施計画（Ver2）への意見と対応

- 公表時期： 令和4年5月31日～令和4年7月15日（約1.5カ月）
- 公表方法： 都・都市整備局（協議会）ホームページに掲載 ※都プレス発表・都Twitter、市広報誌で案内
- 意見件数： 6人 ※複数意見あり

<実施計画（Ver2）への主な意見①>

	実施計画（Ver2）への主な意見	実施計画（Ver3）への反映
(1)計画全般	<ul style="list-style-type: none"> ○将来的な実現可能性を踏まえた選択と集中が必要 ○地域の課題解決や生活レベル向上等の具体的な成果指標が必要 ○地域の強み・可能性や住民の想念・行動分析を踏まえた新たな発想が必要 	<ul style="list-style-type: none"> ●必要性・実現性が高い短期施策（社会実装施策）のスキームの提示（①オンライン・オフライン融合のコミュニティ形成 ②駐車場満空情報等の提供サービス ③MaaS ④地域ポイント） ●地域の課題等に資する実証事業においてKPIを設定し、効果を検証 ●地域の特性や将来ビジョン、住民の行動様式やニーズの変化等を踏まえ、新たなサービス等を引き続き検討
(2)モビリティ	<ul style="list-style-type: none"> ○移動の自由度を向上させるライドシェアの導入が必要 ○遊歩道への自動運転電気自動車の導入による歩行困難者への外出・移動支援が必要 	<ul style="list-style-type: none"> ●ライドシェアや自動運転車等の新たなモビリティサービスについては、「中長期施策」として、引き続き検討
(3)まちの賑わい	<ul style="list-style-type: none"> ○高齢者のための複合型コミュニティ施設が必要 	<ul style="list-style-type: none"> ●複合型コミュニティ施設は「オンライン・オフライン融合のコミュニティ形成におけるコミュニティスペース」において具体的に検討

<実施計画（Ver2）への主な意見②>

	実施計画（Ver2）への主な意見	実施計画（Ver3）への反映
(4)エネルギー	<ul style="list-style-type: none"> ○都立大学を中核に「再生可能エネルギータウン」の実現、再エネ開発・利用で世界有数の大学としてスタートアップ創出の場 ○カーボンニュートラルの実現に向けて、車両の電動化のほか、火力発電や原発も必要 	<ul style="list-style-type: none"> ●基本方針の中で「再生可能エネルギー」位置づけ ●都立大学等とも連携しながら、スタートアップへの実証フェーズの提供等
(5)先端技術	<ul style="list-style-type: none"> ○3D点群データを活用した坂道・階段の無いルート案内、建物内の3Dデータの活用に期待 ○ロボットやカメラ等を活用した先端介護サービスの提供が必要 ○行政手続きのDX化として、ワンストップ納税サービスの提供が必要 ○希望する店舗は、キャッシュレス決済への対応が必要 	<ul style="list-style-type: none"> ●3Dデータの活用は、今年度の「ARナビを活用したバリアフリールート」等の実証を実施 <div style="margin-left: 100px;">  <ul style="list-style-type: none"> ●ご意見として、今後の参考 </div>
(6)その他	<ul style="list-style-type: none"> ○リニア新駅予定地（橋本駅）との関連で、将来的なMICE機能の整備も必要 ○わかりやすい表記・説明が必要 	<ul style="list-style-type: none"> ●リニア新駅の予定は、将来計画等で整理、MICE機能については今後の参考 ●専門用語等は、丁寧かつ具体的に説明するとともに、イメージ図や注釈等を追加